

三田市議会議員と市民との意見交換会

「開かれた議会」に向けた取り組みの一環として平成 25 年度から議会報告会を実施し、今年度も平成 26 年度予算についての報告及び意見交換を5月に開催しましたが、このたび 10 月 3 日（金）から 4 日（土）の 2 日間、企画総務、福祉文教、まちづくりの 3 常任委員会がそれぞれテーマを設けて市民との意見交換会を実施しました。



主な意見は以下のとおりです。

企画総務常任委員会 ふるさと納税～シティセールスをどう考えるか～ 10月3日（金）午後7時～/市議会本会議場

参加者 三田市はかつて10年間人口増加率日本一だった。何かのトップになることで、三田を更にアピールできると思う。例えば健康寿命一番とか。

参加者 日本全国にどのように発信していくか。物を渡すだけではすぐに飽きられてしまう。東京の三田と、三田市が連携するぐらいの思いですべき。三田を好きになってもらう。住んでもらう。発想の枠を変えてみてはどうですか。

議員 人口が増加を続けていたころの、三田の魅力とはなんだったのか。子どもたちの世代が三田に残ってもらうにはどうすれば良いか。そこが大事なところ。今後は市民からテーマをいただくのも大切だと思う。

参加者 ふるさと納税の使い道などははっきりと言えるようにしておかないとダメだと思う。寄付する側はどう使われたかはっきりしないと、不信感を持つので、お願いします。

議員 この3月まで応援基金としているが、使い道の幅を広げて受けられる形にしたい。リピーターが更に増えるように行政としっかりと議論していく。

アンケート
・議員の方々の真摯な答弁に感謝します。このような交換会をこれからも継続して開催していただくようお願いします。(60 歳代以上男性)
・質問だけに終始することがなかったのは良かった点だと思います。(50 歳代男性)

福祉文教常任委員 いじめ防止について 10月3日（金）午後7時～/三田市総合福祉保健センター

参加者 先生の仕事量からすると、いじめの発見や事実確認など無理ではないかと思う。

議員 いじめは陰湿化しており見えにくくなってきている。また、先生のマンパワーの不足があるかもしれない。基本方針には、いじめの早期発見につながるような常設の組織やスクールカウンセラーなど外部の専門家を招聘することも明記されている。

参加者 いじめには加害者、被害者のほか、観衆、傍観者もいる。そこに仲裁者が生まれるかどうかがいじめ防止の分かれ道になるのではないか。

議員 クラスの子がいじめを見ても見ぬふりをすることが多い。いじめを許さない学級づくりをすることが原点ではないかと思う

参加者 LINE（ライン）を使った嫌がらせをうけ、担任の先生に相談したところ、何人かは謝ってきた。

議員 基本方針の中にも、教師が生徒と向き合う時間の確保のため環境整備を進める、とあり、しっかりと環境づくりをしていく必要があると感じる。

アンケート
・真剣にちゃんと目を見て話を聞いてくださってすごく嬉しかったです。こういう人が居るのが分かって良かったです。(20 歳代未満女性)
・三田市も早く専任のスクールソーシャルワーカーが配置できることを希望します。教育現場に福祉の視点が必要です。(50 歳代男性)

まちづくり常任委員会 地域の課題～地域担当制とまちづくり協議会～ 10月4日（土）午後2時～/有馬富士公園パークセンター

地域担当制

参加者 地域担当者が地域の意見を吸い上げるにはPRが不足している。また担当者がもっと地域に出ていくべき。

議員 地域担当者はそこまでできないのではないかと。役割を明確にするべきだった。

参加者 職員の主体性、熱意によるのではないかと。

参加者 少子高齢化する地域課題など地域の将来を住民と一緒に考えるのが地域担当者ではないかと。

まちづくり協議会

参加者 高平地区ではこれからの地域について協議を進めているが地域の事務所の設定、人件費の確保、地区計画が市の総合計画等に対応できるようにしてほしい。

参加者 一括地域交付金制度については、地域がまだうまくいっていないことや地域課題が残っている現状において反対する。

参加者 私はボランティアで「カフェ狭間」をやっているが、皆さんも考えるよりまずやってみようがよいと思う。

議員 取り組みがうまくいく地域と、そうでない地域との差は、これから更に顕著になるだろう、自治会の加入率が半分以下の地域もあり、まずは自治会の活性化を図ることが優先であると思う。

アンケート
・もっと広く発言のチャンスを与えていただきたかった。地域担当の方にお目にかかりたいと思いました。(60 歳代以上女性)
・7人議員が出てくる必要は？2組で2テーマを別開催したほうがよいのでは(30 歳代男性)